

BWT-100R

小動物用体温保持装置



りにゅーある

Renewal して

れいわ

Reiwa に

りたーん

Return しました。



平成の 30 年間の長きに渡り日本の研究者にご愛用いただいた BWT-100 小動物用体温保持装置が、数年の空白を経てリニューアルされ BWT-100「R」として令和の時代にカムバックいたしました。シンプルで使い勝手の良さはそのままに、よりコンパクトにすっきりとした新デザインで、限られたラボスペースを有効に活用できます。電気生理実験のために電磁ノイズ対策を実装し、また特徴的であるアナログ出力機能はさらに強化されました。

■ 電気生理実験に最適な電磁シールド保温パッド

従来モデルで最も改善のご要望が多かった電磁ノイズ対策を遂に実装いたしました。保温パッド内に電磁シールド機構を内蔵し、ハムノイズおよびヒータースイッチングノイズの発生を抑え、脳波/スパイク、心電図、筋電図といった電気生理学データへのノイズ混入を防ぎます。

電磁ノイズ除去用の GND 端子。環境のアースにご接続ください。



パッド温度アナログ出力

直腸温センサー温度アナログ出力

■ センサー温度とパッド温度の両方をアナログ出力

BWT-100 は PowerLab 等のデータ記録装置に直腸温を他の生理学データと並行して記録できるように、直腸温センサーの値をリアルタイムでアナログ出力できるのが大きな特徴です。リニューアルされた BWT-100R では保温パッド内にも温度センサーを内蔵しており、直腸温センサーの値に加えて保温パッドの温度も独立してアナログ出力できます。つまり、体温に加えて外から動物に加えられた熱も一緒に記録でき、データ解釈に新たな視点を与えます。



電源スイッチ

保温パッド温度

直腸温センサー温度

直腸温センサープローブコネクタ
Physitemp 社など市販の T 型熱電対温度プローブも使えます。

保温パッドコネクタ
保温パッドはマウス用 (S) とラット用 (L) が選べます。

モード切り替えスイッチ

PAD モード：パッドの温度が設定温度になるよう動作。

SEN モード：直腸温センサーの温度が設定温度になるよう動作。

設定温度アップ / ダウンスイッチ

仕様

設定温度	室温 ~ 50°C
測定温度	10 ~ 50°C
測定精度	±0.1°C
直腸温センサー	T 型熱電対、Φ1.5mm
マウス用保温パッド	W x D : 85 x 125 mm
ラット用保温パッド	W x D : 160 x 220mm
本体サイズ	W x D x H : 110 x 120 x 65 mm

型式	品名
BWT-100R-S	小動物用体温保持装置、マウス用保温パッド付
BWT-100R-L	小動物用体温保持装置、ラット用保温パッド付
BWT-PAD-S	マウス用保温パッド
BWT-PAD-L	ラット用保温パッド
BWT-SEN	直腸温センサープローブ



本社 〒461-0001 名古屋市東区泉 2-28-24 東和高岳ビル4F TEL (052) 932-6421 / FAX (052) 932-6755
東京支店 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-7-1 瀬木ビル2F TEL (03) 3861-7021 / FAX (03) 3861-7022
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 6-8-8 花原第 8ビル2F TEL (06) 6305-2130 / FAX (06) 6305-2132
福岡営業所 〒813-0034 福岡市東区多の津 1-14-1 FRビル4F TEL (092) 626-7211 / FAX (092) 626-7315
仙台営業所 〒984-0015 仙台市若林区卸町 5-2-10 卸町斎藤ビル208 TEL (022) 290-9352 / FAX (022) 290-9353
URL: <https://www.brck.co.jp> Email: sales@brck.co.jp